



NUAGE

NUAGE MASTER CONTROL SURFACE
Ncs500-CT

セットアップガイド

このたびは Nuage Master をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
製品の優れた機能を十分に発揮させるとともに、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。

目次

安全上のご注意	3
注記(ご使用上の注意)	6
お知らせ	6
はじめに	7
開発者からのメッセージ	7
付属品	7
別途ご用意いただくもの	7
取扱説明書の読みかた	8
準備	9
全体の流れ	9
設置および接続	10
電源の準備	11
TOOLS for NUAGEのインストール	11
NUAGEのWorkgroupの設定	11
困ったときは(セットアップ編)	12
資料	13
オペレーションマニュアルの目次	13
ファームウェアのアップデート	13
タッチセンスの感度の調節	13
輝度の調節	14
タッチパネルディスプレイの検出位置の調節(キャリブレーション)	14
本体を工場出荷時の状態に初期化	14
寸法図	15
仕様	17
アフターサービス	19

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	---

 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	--

この製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

警告

電源 / 電源コード



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源はこの機器に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。

ただし、日本国外で使用する場合は、付属の電源コードを使用できないことがあります。お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。



必ず実行

電源プラグは保護接地されている適切なコンセントに接続する。

確実に接地接続しないと、感電の原因になります。

分解禁止



禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

水に注意



禁止

この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

この機器の上でろうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・ 電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・ 製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・ 製品の内部に異物が入った場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源 / 電源コード



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

設置



禁止

不安定な場所に置かない。

この機器が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がかげがをしたりする原因になります。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。

故障の原因になります。



必ず実行

この機器を移動するときは、必ず接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

リアパネルの電源スイッチを容易にオン/オフできるように設置する。

異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続



必ず実行

ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量（ボリューム）を最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷になることがあります。

手入れ



必ず実行

この機器の手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電の原因になることがあります。

取り扱い



禁止

この機器の通風孔/パネルのすき間に手や指を入れない。

お客様がかげがをするおそれがあります。



禁止

この機器の通風孔/パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

この機器の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

この機器が破損したり、お客様やほかの方々がかげがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

製品の取り扱い / お手入れに関する注意

- ・ テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- ・ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- ・ この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色/変質する原因になります。
- ・ 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。
- ・ 機器の周囲温度が極端に変化して(機器の移動時や急激な冷暖房下など)、機器が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。
- ・ 先のとがったものや、爪などの硬いもので、画面を操作しないでください。画面を傷つけたり、タッチスクリーンでの操作ができなくなるおそれがあります。
- ・ 使用後は、必ず電源をオフにしましょう。

コネクターに関する注意

- ・ XLRタイプコネクターのピン配列は、以下のとおりです(IEC60268規格に基づいています)。
1: グラウンド(GND)、2: ホット(+)、3: コールド(-)
- ・ やむをえず本機のバランス(平衡)出力をアンバランス(不平衡)機器に接続する場合は、グラウンド電位の違いにより機器の故障の原因となる可能性がありますので、各機器間のグラウンド電位を合わせて使用してください。アンバランス(不平衡)機器接続ケーブルの配線は3pin COLDと1pin GNDを接続してお使いください。

お知らせ

データの著作権に関するお知らせ

ヤマハおよび第三者から販売もしくは提供されている音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

製品に搭載されている機能 / データに関するお知らせ

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。(VCCI-B)

取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・ 取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ MacまたはMacintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品のリアパネルにある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(rear_ja_02)

はじめに

開発者からのメッセージ

このたびはNUAGEシリーズ「Nuage Master」をお選びいただき、ありがとうございます。

NUAGEシリーズは、SteinbergのDAWソフトウェア「Nuendo」を核とした業務用音楽制作システム製品群です。

ヤマハがデジタルミキシングコンソールDM/Oシリーズを中心としたポストプロダクションや音楽制作の環境をご提案してきてから約20年を経て、昨今はより短納期の仕事为中心となり、ひとつのプロジェクトに対してかけられる時間が限られてきていると感じます。そんな環境のなかで、より効率よく、しかも品質の高い結果を残していくためには、どんなシステムが理想的なのか、という点を徹底的に考えて開発したのがこのNUAGEシリーズです。

システムの軸となるのは、ポストプロダクションやレコーディングの現場で、作業性の高さや音質に定評のあるSteinberg Nuendoです。このNuendoの操作性をさらに追求するために、Nuage Master (コントロールサーフェス Ncs500-CT)とNuage Fader (コントロールサーフェス Ncs500-FD)を開発しました。Nuage Masterはポストプロダクションで使用する操作子を集約して、直感的な操作で作業効率を高めます。Nuage FaderはNuendoのミキサーウィンドウと完全に連動して、さもソフトウェアそのものがハードウェアになっているかのような一体感のある操作感を提供します。

次にNuendoの音のよさを支えるのがNUAGE I/O (オーディオインターフェイス)です。NUAGE I/Oには、AES/EBUで16チャンネルのNio500-D16、アナログ16チャンネルのNio500-A16、アナログ8チャンネルとAES/EBUで8チャンネルを組み合わせたNio500-A8D8の3種類をご用意しています。NUAGE I/Oとコンピューターとのプロトコルには拡張性の高いDanteを採用し、NUAGE I/Oを複数台使用してフレキシブルなシステム構築をできるようにしました。また、複数台使用したときのレコーディングモニターをほぼゼロに等しいレイテンシーで実現できるモニターバスのカスケードが、快適なモニター環境をもたらします。これも、ミュージシャンの創造性や演奏感を最優先する私たち開発陣の思想が反映されています。

さらに、NUAGE I/Oとコンピューターとの通信には、非常に高い安定性が求められます。レイテンシーの低減だけでなく、万が一のトラブルが発生しても、滞りなく仕事を完遂できる環境づくりが大切です。そのために使用するのがDANTE ACCELERATOR (オーディオインターフェイスカードAIC128-D)です。NUAGE I/Oと組み合わせることで、安心かつ快適な音楽制作環境を実現します。

DM/Oシリーズからの経験や研究、そして何より皆様から頂いた生の声により生まれてきたこのNUAGEシリーズで、皆様のお仕事をサポートできることを大変嬉しく思います。私たちの技術は、水面下で皆様の創造性を引き出すためにあります。皆様の創造性が、NUAGEシリーズでさらに広がることをお祈り申し上げます。

ヤマハNUAGEシリーズ開発チーム

付属品

- ・ ジョグホイール

NOTE

本体に取り付けてください。

- ・ 電源ケーブル

- ・ 連結金具 2個

- ・ セットアップガイド(本書、保証書(20ページ)付き)

別途ご用意いただくもの

NOTE

下記に関する最新情報は、ヤマハプロオーディオウェブサイトをご参照ください。

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>

- ・ コンピューター

WindowsまたはMacを利用できます。あらかじめNuendoをインストールしておきます。

- ・ スイッチングハブ

ネットワークを制御/監視するためのさまざまな機能(任意のデータ回線のクロック同期や音声の伝送を優先させるQoSや、不要なマルチキャストトラフィックをフィルタリングするIGMP Snoopingなど)が盛り込まれているものをおすすめします。

- ・ イーサネットケーブル

CAT5e以上のSTPストレートケーブルをおすすめします。

- ・ Nuendo

Steinberg社のDAW (Digital Audio Workstation)ソフトウェアです。NUAGEシリーズに対応したNuendoは、バージョン6以降です。

- ・ TOOLS for NUAGE

本体をコンピューターにつなげて使用するために必要なソフトウェアです。TOOLS for NUAGEをインストールすると、NUAGE Workgroup Manager、NUAGE Extension、NUAGE PT Bridge (Macのみ)がインストールされます。NUAGE Workgroup Managerは、NUAGEのシステムにおいて機器やDAWソフトウェアを1つのWorkgroupとして管理するためのソフトウェアです。NUAGE Extensionは、Nuendoとの連携機能を使用するためのソフトウェアです。NUAGE PT Bridgeは、Nuage MasterやNuage FaderでPro Tools (Macのみ)をコントロール(基本機能のみ)するためのソフトウェアです。

下記のウェブサイトからダウンロードしてください。

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/downloads/>

はじめに

・オペレーションマニュアル

本体の機能や使用方法を説明している、PDFファイルの取扱説明書です。

下記のウェブサイトからダウンロードしてください。
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/downloads/>

取扱説明書の読みかた

種類と内容

・セットアップガイド

本体に付属の取扱説明書(本書)です。本体の使用準備をするためにお読みください。

・オペレーションマニュアル

ウェブサイトからダウンロードする、PDFファイルの取扱説明書です。本体の機能や使用方法を調べるためにお読みください。

NOTE

オペレーションマニュアルは、PDF形式の電子ファイルになっています。このファイルは、コンピューターでご覧いただけます。コンピューターでご覧いただくソフトウェアとして「Adobe® Reader®」を使うと、用語をすばやく検索したり、必要な部分だけを印刷したり、リンクをクリックして該当する項目を開いたりすることができます。特に用語検索とリンク機能は、電子ファイルならではの便利な機能です。ぜひご活用ください。

最新のAdobe Readerは下記のウェブサイトよりダウンロードできます。
<http://www.adobe.com/jp/>

表記

・ [] と 「 」

この取扱説明書では、[] と 「 」 は次のものを表記するために使用しています。

記号	表記するもの
[]	・ 本体にあるボタン、スイッチ、インジケーター、端子など ・ コンピューターのキーボードにあるキー
「 」	・ タッチパネルディスプレイ、コンピューターの画面、ソフトウェアの画面にあるメニュー、ボタン、タブ、エリア、ウインドウなど ・ メッセージ、機能名、取扱説明書の中の参照先などの引用

・ Windows と Mac

手順や説明で、WindowsとMacで操作が違ったり、どちらかのOSだけで使用できる機能の場合は、それを記載しています。OSの記載がない場合は、両OSで共通です。

・ 手順

手順の一部は、「→」を使用して簡潔に記載しています。たとえば、「デバイス」→「デバイス設定」→「コントロールパネル」と記載している場合は、次のように操作します。

1. 「デバイス」メニューをクリックします。
2. 「デバイス設定」オプションを選択します。
3. 「コントロールパネル」ボタンをクリックします。

・ キーボードショートカット

キーボードショートカットは、[Windowsのキー]/[Macのキー]+[キー]と記載しています。たとえば、[Ctrl]/[command]+[Z]は、Windowsでは[Ctrl]キーを押しながら、Macでは[command]キーを押しながら、[Z]キーを押します。

・ 画像(スクリーンショット)

説明のための画像は、Windows版を使用しています。ただし、Mac版だけの機能を説明するための画像は、Mac版を使用しています。また、Nuendoの画像はNuendo 6を使用しています。他のバージョンのNuendoをご使用の場合、画像が異なることがあります。詳細は、Nuendoの「ヘルプ」メニューから開く取扱説明書(PDF)をご参照ください。

Nuendoの機能の説明

この取扱説明書では、Nuendoの機能の説明は簡単な内容にとどめています。Nuendoの機能の詳細は、Nuendoの「ヘルプ」メニューから開く取扱説明書(PDF)をご参照ください。

準備

全体の流れ

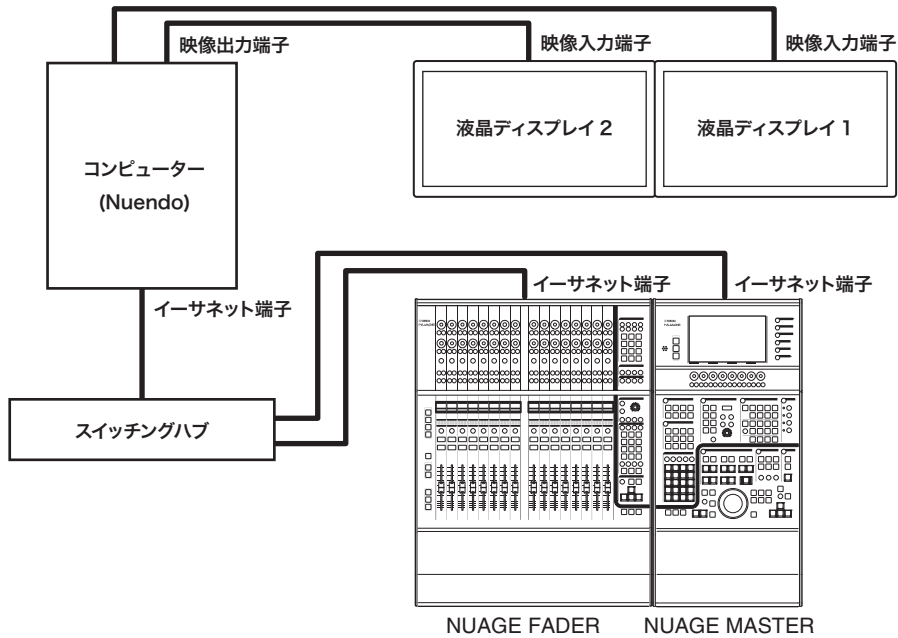
1. 本体、液晶ディスプレイ、コンピューターなどを設置したあと、各機器を接続します。→「設置および接続」(10ページ)
2. 電源ケーブルを接続し、電源をオンにします。→「電源の準備」(11ページ)
3. TOOLS for NUAGEをインストールします。→「TOOLS for NUAGEのインストール」(11ページ)
4. NUAGE Workgroup Managerで、NUAGEのWorkgroupを設定します。→「NUAGEのWorkgroupの設定」(11ページ)

設置および接続

次の例のように、設置および接続をします。

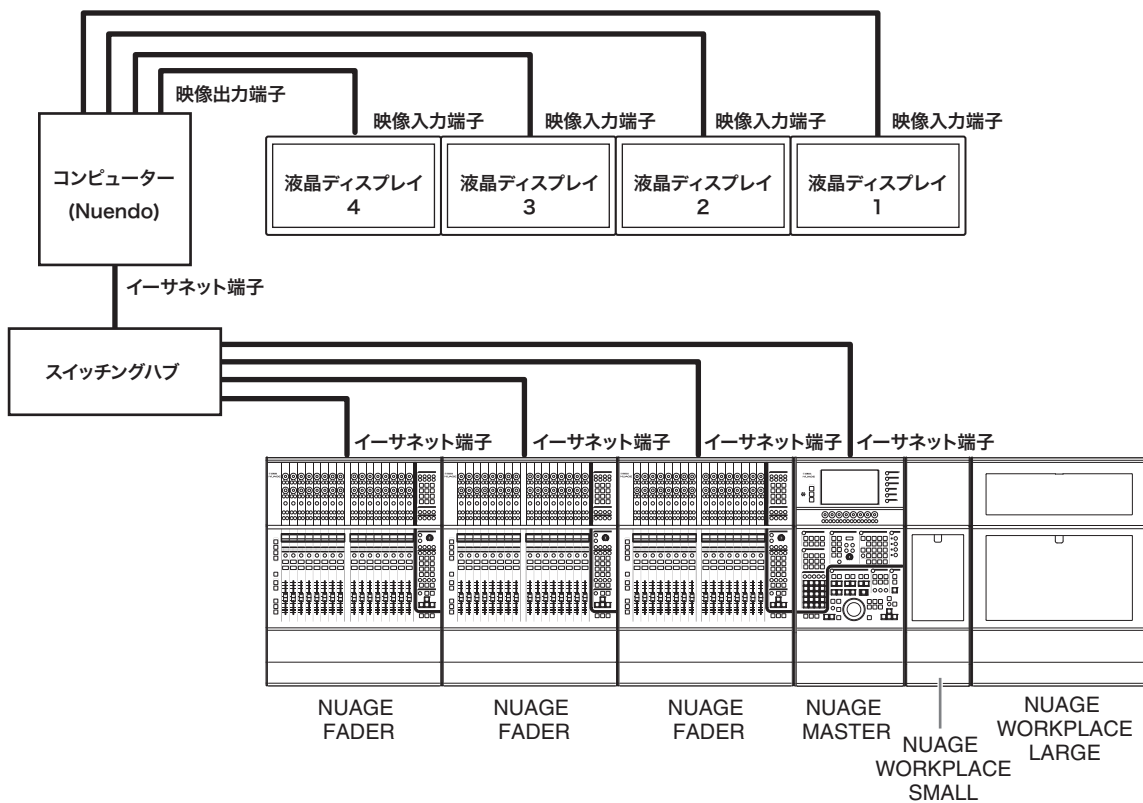
例1

NUAGE FADER 1台、NUAGE MASTER 1台



例2

NUAGE FADER 3台、NUAGE MASTER 1台、NUAGE WORKSPACE (SMALL) 1台(オプション品)、NUAGE WORKSPACE (LARGE) 1台(オプション品)



NOTE

液晶ディスプレイは、NUAGE MASTERの前にあるディスプレイがプライマリになるように、OSで設定してください。

電源の準備

1. 電源ケーブルの本体側のプラグを、本体の電源端子に差し込みます。
2. 電源ケーブルのコンセント側のプラグを、コンセントに差し込みます。
3. 本体の電源をオン(I)にします。

NOTE

電源を切るときはオフ(O)にします。

⚠ 警告

電源ケーブルは、必ず付属のものまたはヤマハ推奨の同等品をご使用ください。異なる電源ケーブルの使用は、故障、発熱、火災などの原因になります。

⚠ 注意

本体を使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源ケーブルを抜いてください。感電や火災、故障の原因になることがあります。

注記

電源スイッチのオン/オフを連続して切り替えると、誤動作の原因になることがあります。電源スイッチをオフにしてから再度オンにする場合は、6秒以上の間隔を空けてください。

TOOLS for NUAGEのインストール

ウェブサイトからダウンロードしたTOOLS for NUAGEのインストーラーをダブルクリックしてインストールします。詳細は、TOOLS for NUAGEのインストールガイドをご参照ください。

NUAGEのWorkgroupの設定

はじめて機器の電源を入れたりDAWソフトウェアを起動したときは、機器やDAWソフトウェアをWorkgroupに登録するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[OK]をクリックすると登録できます。このメッセージが表示されない場合は、NUAGE Workgroup Managerの画面を開き、機器やDAWソフトウェアをWorkgroupに登録します。詳細は、NUAGE Workgroup Managerの取扱説明書(PDF)をご参照ください。

NOTE

NUAGE Workgroup Managerの取扱説明書を開くには、タスクトレイ(Windows)またはメニューバー(Mac)にあるNUAGE Workgroup Managerのアイコンをダブルクリックして画面を開いたあと、「Manual」アイコンをクリックします。

以上で、準備は完了です。

困ったときは (セットアップ編)

電源が入らない

- ・ 本体の電源がオンになっていますか？
- ・ 有効なコンセントに電源コードを接続していますか？
- ・ 電源コードがしっかりと差し込まれていますか？

それでも電源がオンにならない場合は、巻末に記載されているヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

Nuendoとつながらない

- ・ イーサネットケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ 「TOOLS for NUAGEのインストール」(11ページ)は完了しましたか？
- ・ 「NUAGEのWorkgroupの設定」(11ページ)は完了しましたか？
- ・ ファイアウォールの設定は適切ですか？
- ・ 無線LANのアダプターが動作している場合、動作を停止してみてください。

LCDや有機ELディスプレイに、点灯しない点や点灯したままの点がある

- ・ ディスプレイの特性です。故障ではありません。

ノブやフェーダーのタッチセンスの感度が弱すぎる/強すぎる

- ・ 「タッチセンスの感度の調節」(13ページ)をしてください。

ボタンやタッチパネルディスプレイの輝度が暗すぎる/明るすぎる

- ・ 「輝度の調節」(14ページ)をしてください。

タッチパネルディスプレイの検出位置がずれている

- ・ 「タッチパネルディスプレイの検出位置の調節(キャリブレーション)」(14ページ)をしてください。

資料

オペレーションマニュアルの目次

はじめに

取扱説明書の読みかた

本体の説明

トップパネル
フロントパネル
リアパネル

ソフトウェアの説明

マルチファンクションディスプレイに表示されるページ
NUAGE MASTER Setup
NUAGE Workgroup Manager

困ったときは(オペレーション編)

資料

セットアップガイドの目次
四角ボタンのラベルの交換
Pro Toolsのコントロール

ファームウェアのアップデート

この製品は、操作性向上や機能の追加、不具合の修正のために、本体のファームウェアをアップデートできる仕様になっています。ファームウェアのアップデートは、コンピューターと接続して行ないますので、コンピューターにあらかじめソフトウェア「NUAGE Workgroup Manager」をインストールしておく必要があります。NUAGE Workgroup Managerは、下記のウェブサイトにある「TOOL for NUAGE」でインストールできます。

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>

アップデートの手順や本体の設定については、ウェブサイトに用意されているファームウェアアップデートガイドをご参照ください。

タッチセンスの感度の調節

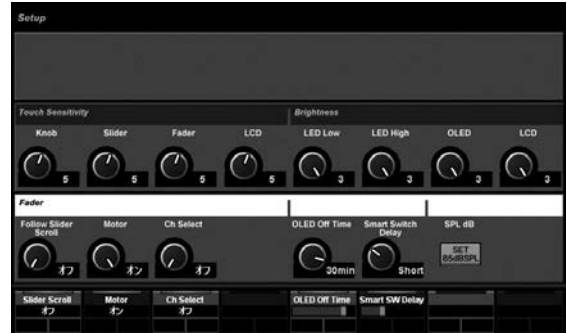
NOTE

タッチセンスの感度を調節するには、本体を使用するための「準備」(9ページ)がすべて完了し、Nuendoを起動する必要があります。

Nuage Masterのタッチパネルディスプレイ([マルチファンクションディスプレイ])に表示されるSETUPページで調節します。

1. [マルチファンクションディスプレイ]の右側にある[SETUP]を押します。

SETUPページが表示されます。



2. 「Touch Sensitivity」をタッチします。

「Touch Sensitivity」の段が選択され、[マルチファンクションディスプレイ]の下部にあるノブ([マルチファンクションノブ])の操作対象となります。

3. [マルチファンクションノブ]を回して、タッチセンスの感度を調節します。

項目	説明
Knob	Nuage FaderとNuage Masterにある[マルチファンクションノブ]のタッチセンスの感度を調節します。
Slider	Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクションにあるスライダ ([タッチスライダーパー])のタッチセンスの感度を調節します。
Fader	Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクションにある[フェーダー]のタッチセンスの感度を調節します。
LCD	Nuage Masterにある[マルチファンクションディスプレイ]のタッチセンスの感度を調節します。

以上で完了です。

輝度の調節

調節の方法は、「タッチセンスの感度の調節」(13ページ)と同様です。画面が表示されたら「Brightness」を調節します。

項目	説明
LED Low	ボタンのLEDが暗点灯しているときの輝度を調節します。
LED High	ボタンのLEDが点灯しているときの輝度を調節します。
OLED	Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクションにある有機ELディスプレイと、Nuage MasterのCONTROL ROOMセクションにある有機ELディスプレイの輝度を調節します。
LCD	Nuage Masterにある[マルチファンクションディスプレイ]の輝度を調節します。

タッチパネルディスプレイの検出位置の調節(キャリブレーション)

1. 本体にある[ALT]を押したまま、本体の電源をオンにします。
タッチパネルディスプレイ ([マルチファンクションディスプレイ])にメニューが表示されたら、[ALT]を離します。
2. [ジョグホイール]の右側にある[▲]/[▼]ボタンで「TOUCH PANEL CALIBRATION」を選択し、[ENTER]を押します。
3. 「YES」を選択し、[ENTER]を押します。
4. 画面に表示されているマークを押し続けます。
次のマークが表示されたら、そのマークを押し続けます。この操作を繰り返します。
5. 調節が完了したら最初のメニュー画面に戻るので、「EXIT」を選択し[ENTER]を押します。
Nuage Masterが再起動します。

以上で完了です。

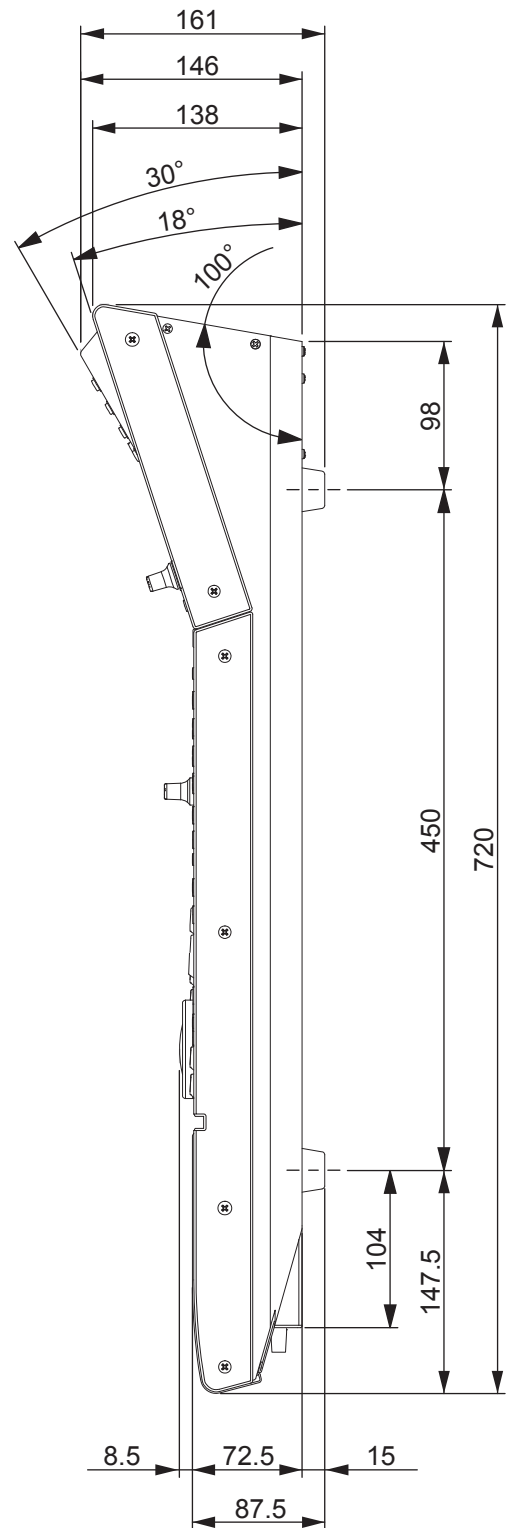
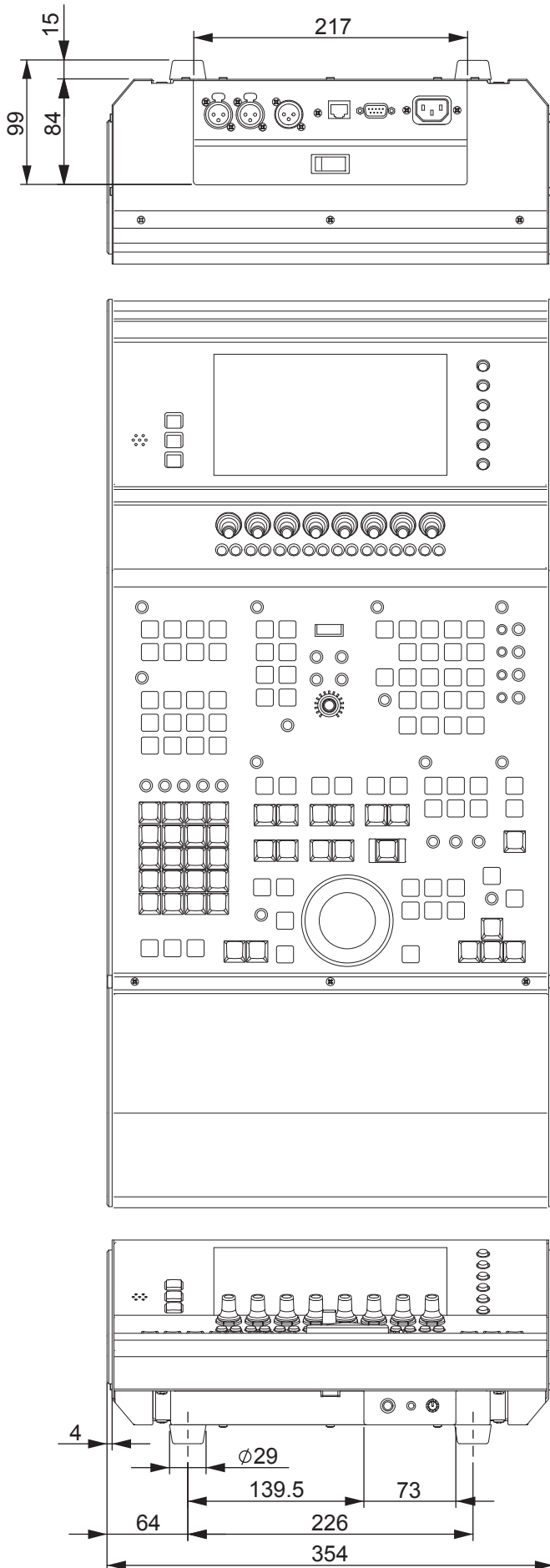
本体を工場出荷時の状態に初期化

NOTE

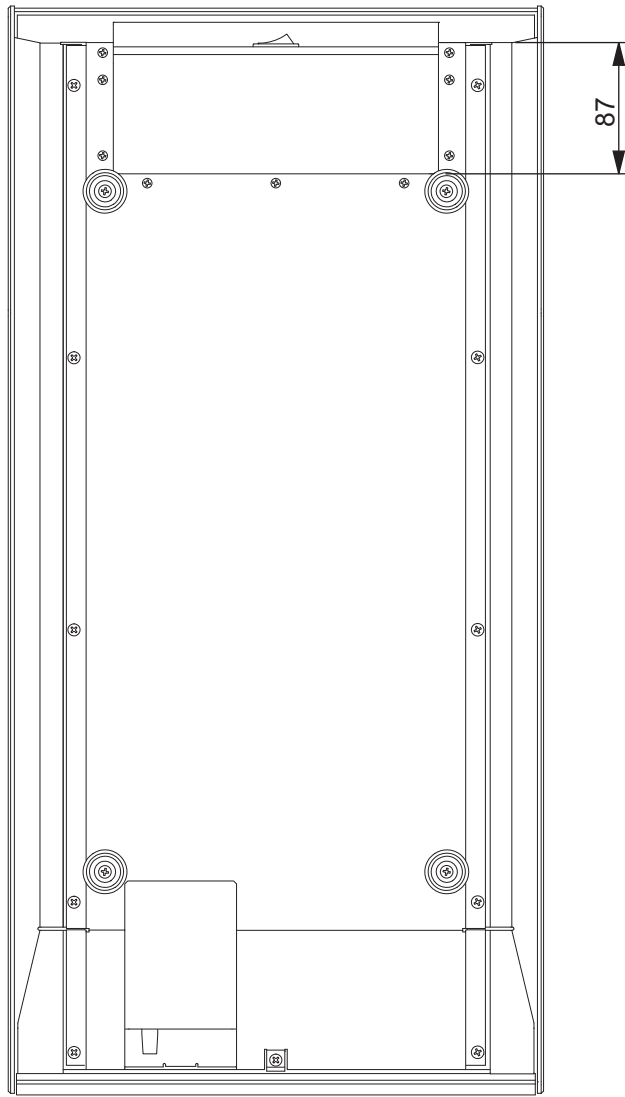
Nuendoおよび作成したNuendoのプロジェクトには影響を与えません。

初期化の方法は「タッチパネルディスプレイの検出位置の調節(キャリブレーション)」と同様です。メニューが表示されたら「INITIALIZE MEMORIES」を選択します。初期化が完了したら最初のメニュー画面に戻るので、「EXIT」を選択し[ENTER]を押します。

寸法図



Unit: mm



Unit: mm

仕様

電気的特性

すべてのレベルコントロールは規定レベルに設定しています。信号の出力インピーダンス: 150ohms OdBu = 0.775Vrms

	入力	出力	RL	条件	最小	規定	最大	単位
周波数特性	TO PHONES	Phones A or B	8Ω	Phones level control max, Input level +4dBu(typ), 20Hz-20kHz, ref to the nominal output level @1kHz	-3	0.0	0.5	dB
全高調波歪率 *1	TO PHONES	Phones A or B	8Ω	+4dB@20Hz-20kHz, Phones level control max			0.04	%
ハム&ノイズ *2	TO PHONES	Phones A or B	8Ω	residual output noise, Phones level control min			-100	dBu
クロストーク @1kHz *3	CH L	Phones out CH R	-	L/R, adjacent inputs			-80	dB
	CH R	Phones out CH L	-					

	条件	最小	規定	最大	単位
電源条件	US/Canada: 120V 60Hz Japan: 100V 50/60Hz China: 110-240V 50/60Hz Korea: 220V 60Hz Other: 110-240V 50/60Hz		30		W
動作環境温度	Operating temperature range	0		40	°C
	Storage temperature range	-20		60	°C

アナログ入力

入力端子	入力 インピーダンス	ソース インピーダンス	ゲイン	入力レベル		コネクター
				規定レベル	最大ノンクリップ レベル	
TO PHONES	20KΩ (BAL)	150Ω Lines	0dB	+4dBu (1.23 V)	+30dBu (24.56 V)	XLR3-31 type connectors ^{*4}

アナログ出力

出力端子	出力 インピーダンス	負荷 インピーダンス	ゲイン	出力レベル		コネクター
				規定レベル	最大ノンクリップ レベル	
PHONES A	100Ω	8Ω Phones	-	4mW	25mW	Stereo Phone Jack (TRS) (Unbalanced) ^{*5}
		40Ω Phones	-	12mW	75mW	
PHONES B	100Ω	8Ω Phones	-	4mW	25mW	Stereo Phone Mini Jack (TRS) (Unbalanced) ^{*5}
		40Ω Phones	-	12mW	75mW	
TALKBACK OUT	75Ω	600Ω Lines	-	+4dBu (1.23 V)	+24dBu (12.3 V)	XLR-3-32 type (Balanced) ^{*4}

コントロール入出力

端子	フォーマット	コネクター
NETWORK	IEEE802.3 (10Base-T/100Base-TX)	RJ-45
REMOTE	RS-232C	D-SUB Connector 9P (Male)

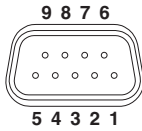
資料

- *1 全高調波歪率の測定には、80kHzのローパスフィルターを用いています。
- *2 ハム&ノイズレベルの測定には、A-Weightフィルターと30kHzのローパスフィルターを用いています。
- *3 クロストークの測定には、22kHz、-30dB/Octのフィルターを用いています。
- *4 XLR-3-31とXLR-3-32はバランスタイプです(1=GND、2=HOT、3=COLD)。
- *5 PHONES端子はアンバランスタイプです(Tip=LEFT、Ring=RIGHT、Sleeve=GND)。

一般仕様

寸法 (W x D x H)	354 x 720 x 161mm
質量	10.0kg
付属品	ジョグホイール、電源ケーブル、連結金具 2個、セットアップガイド

ピンアサイン



番号	信号
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	DGND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC
HOUSING	Frame GND

仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。

アフターサービス

お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

ナビダイヤル
(全国共通番号)  **0570-050-808**
市内通話料でOK
ナビダイヤル®
(全国どこからでも市内通話料金でおかけいただけます)

IP 電話 / 公衆電話の場合は **03-5652-3618**
受付 月曜日～金曜日 11:00～19:00
(祝日およびセンター指定休日を除く)
FAX **03-5652-3634**
オンラインサポート <http://jp.yamaha.com/support/>

●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通番号)  **0570-012-808**
市内通話料でOK
ナビダイヤル®
(全国どこからでも市内通話料金でおかけいただけます)

IP 電話 / 公衆電話の場合は **053-460-4830**
受付 月曜日～金曜日 9:00～18:00
土曜日 9:00～17:00
(祝日およびセンター指定休日を除く)
FAX **03-5762-2125** 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)
06-6465-0367 西日本(沖縄/九州/中国/四国/近畿/北陸)

修理品お持込み窓口
受付 月曜日～金曜日 9:00～17:45
(祝日およびセンター指定休日を除く)
* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島 2 丁目 1-1
京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター
〒554-0024 大阪市此花区島屋 6 丁目 2-82
ユニバーサル・シティ和幸ビル 9F
FAX 06-6465-0374

●営業窓口

(株)ヤマハミュージックジャパン PA 営業部
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 41-12
KDX 箱崎ビル 1F

* 名称、住所、電話番号、営業時間、URL などに変更になる場合があります。

保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

●保証書

この製品には保証書が付属しています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのは、製品ごとに定められています。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

ご希望により有料にて修理させていただきます。下記の部品などについては、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後 8 年です。

●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

●損害に対する責任

この製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

ASCAMIPAMPPCA3

出張修理

保証書

品名	CONTROL SURFACE	
品番	Ncs500-CT	
※シリアル番号		
保証期間	本体	お買上げの日から1年間
※お買上げ日	年 月 日	
お客様	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	ご住所	様
	お名前	
	電話	()

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)をあわせてご提示ください。

(詳細は下項をご覧ください)

※販売店	店名	印
	所在地	
	電話	
	()	

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部
〒103-0015
東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル1F
TEL. 03-5652-3850

保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、お買上げの販売店にご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - 消耗部品の交換。
 - 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費。

- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

* この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。

* ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。

※ その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト：
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>
ヤマハマニュアルライブラリー：
<http://www.yamaha.co.jp/manual/>

C.S.G., PA Development Division
© 2013-2014 Yamaha Corporation

2014年9月改訂 YJTO-CO
Printed in Japan

ZC84550